

試験研究課題名	研究期間	担当	試験研究課題名	研究期間	担当
<b>I 農林水産業を支える技術開発</b>			<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立</b>		
<b>① ブランド化のための技術開発</b>			<b>(優秀種雄牛の造成)</b>		
<b>② マーケット起点のものづくりを支える技術開発</b>			(1) 種雄牛検定	長期	肉用牛改良肥育
<b>(良食味、機能成分を含む牛肉生産技術の検討)</b>			ア. 直接法		
(1) 「豊味(うま)いの証」豊後牛生産技術の確立	H24~H26	プロジェクト (企画、改良、肉酪)	イ. 現場後代法		
ア 牛肉中のオレイン酸含有率を取り入れた産肉能力育種手法の検討		(改良)	大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解	H22~長期	肉用牛改良肥育
イ 飼料米給与による高オレイン酸含有牛肉生産技術の確立		(肉酪)	(2) 析及び効果検証		
<b>(「おおいた冠地鶏」等鶏の改良及び飼養管理技術)</b>			<b>(牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定)</b>		
(2) 「おおいた冠地どり」の胸肉割合改良試験	H24~H26	豚・鶏	(3) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験		飼料・環境
(3) 規格外乾しいたけを利用した高品質な「冠地どり」の作出	H26~H28	豚・鶏	ア. とうもろこし	S55~長期	
<b>③ 力強い担い手を育成するための技術開発</b>			イ. イタリアンライグラス	S55~長期	
<b>(牛の体内受精卵移植技術の確立)</b>			ウ. ソルガム	長期	
(4) 乳牛の雌選別精液を用いた人工授精の受胎率向上に関する研究	H25~H27	肉用牛繁殖・酪農	<b>(系統造成豚の長期維持と改良および優良種子豚等の供給)</b>		
(5) 経膈採卵及び雌選別精液を用いた体外受精による効率的な高泌乳牛生産方法の確立	H24~H26	肉用牛繁殖・酪農	(4) 原種豚の改良維持及び増殖		豚・鶏
<b>(豚凍結精液等利用技術の確立)</b>			ア. ランドレース種の系統維持、増殖	H19~長期	
(6) ブタ精巢上体精子の凍結保存技術の確立と人工授精法の開発	H25~H26	豚・鶏	イ. 大ヨークシャー種の改良増殖	H19~長期	
(7) ウシ凍結精液による人工授精技術の修正と高度化	H25~27	プロジェクト (改良、肉酪、豚鶏)	ウ. デュロック種の能力維持	H21~長期	
<b>(子牛の低コスト生産技術の検討)</b>			<b>(「おおいた冠地どり」等原種鶏の改良と優良種苗等の安定供給)</b>		
(8) 焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を活用した肉用牛子牛育成技術の開発	H25~H27	プロジェクト (飼料・環境、肉酪)	(5) 原種禽の系統維持及び増殖	H元~長期	豚・鶏
<b>(省力的な肥育牛管理技術の検討)</b>			ア. 「豊のしゃも」原種鶏		
(9) とよのくに一本化体系における「締まり」の改善方法の検討	H24~H26	肉用牛繁殖・酪農	イ. 「おおいた冠地どり」原種鶏		
<b>(高繁殖能力の母豚群の作出)</b>			ウ. 「おおいた烏骨鶏」原種鶏		
(10) 生産者の所得向上を目指した「スーパー母豚」自家農場作出システムの構築	H26~H28	豚・鶏			
<b>④ 地球温暖化・環境対策等の技術開発</b>					
<b>⑤ 地域資源の活用と省エネルギーの開発技術</b>					
<b>(牛の耕作放棄地放牧技術の確立)</b>					
(11) 耕作放棄地解消後の圃場における周年放牧の確立	H22~H26	プロジェクト (飼・肉)			
<b>(未利用資源の牛への飼料化技術の確立)</b>					
(12)					
ア 大豆煮汁の乳牛用飼料への利用方法の検討	H24~H26	肉用牛繁殖・酪農			
イ 大豆煮汁発酵液から生まれる「牛の活力ドリンク剤」の開発	H25~H26	肉用牛繁殖・酪農			
<b>(永年草地における生産性と強害雑草対策)</b>					
(13) 新しい簡易更新技術と長期間牧草維持可能な収穫作業体系の確立	H24~H26	飼料・環境			
<b>(新型作業機の導入適正)</b>					
(14) ダイレクト収穫による二毛作、二期作体系の確立	H24~H26	飼料・環境			
<b>(未利用資源の豚への有効活用技術の確立)</b>					
(15) 飼料用米を利用した豚飼養技術の確立	H21~H26	豚・鶏			